

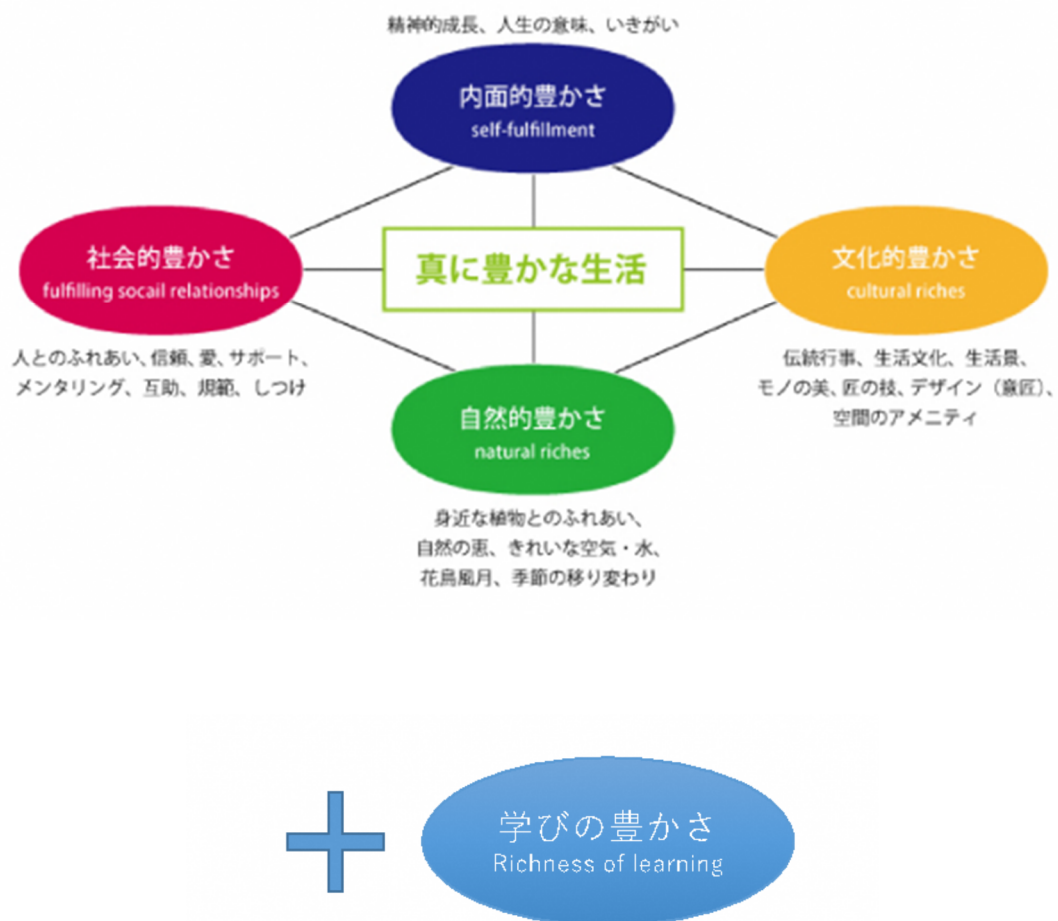
2. 豊かな生活の実現

(1) 真に豊かな生活とは

アクティブシニアに限らず、都市から地方へ移住する人々の目的は「豊かな生活の実現」にある。「豊かな生活の実現」は、言い換えれば、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、幸福で充実した人生を送れるか、というものである。この嶺北地域においては、住民に対してどのような「豊かな生活の実現」を提供できるかが重要な視点と考えられる。

「真に豊かな生活」の定義については、下図のようなモデルを示す。

図：生活の豊かさのモデル



出典：宮田安彦「ライフデザイン学概論」

そして、この「生活の豊かさのモデル」の5つ目の要素に「学びの豊かさ」を加え、これを「生活の豊かさ、嶺北モデル」として嶺北地域における「豊かさ」を検証する。

（２）嶺北地域における「豊かな生活」について

① 社会的豊かさの充実

社会的豊かさとは、人とのふれあいや信頼、互助など、家族を含め、他者との関係の量的、質的な豊かさである。

都会では希薄となった隣近所とのつきあいや世代を超えた交流が、嶺北地域には今もしっかりと息づいている。これは移住実践者と受入地域の住民とが良好な関係を築くことで得られている豊かさであるが、この交流こそが、移住実践者が「田舎暮らし」に期待するものの一つである。

また、嶺北地域ではボランティアセンターやシルバー人材センターなどを通じた社会参加が盛んに行われている。豊かな経験を持つアクティブシニアが地域のボランティア活動や社会貢献活動などに参画することは、活力ある地域づくりの実現とともに健康で生きがいのある生活に繋がるものと考えられる。

幅広い世代との交流が田舎暮らしの魅力



② 文化的豊かさの充実

文化的豊かさは、生活にゆとりや潤い、生きがいなど精神的な充足感をもたらす要素で、人の生き方、価値観、ライフスタイルの源泉となる。

嶺北地域には地域で古くから行われている伝統行事や生活文化などが現存しているが、高齢化のために消えかけている文化も多い。そのような意味では、田舎暮らしの

技や知恵を学び合い、次の世代に継承する取り組みは今やるべき重要な課題であるといえる。



干し大根



田舎こんにやく



山 菜

これまで嶺北地域に移住した人たちの多くが「自らの手で暮らしを築いていくことの楽しさや豊かさ」に関心が高いことがわかっている。下図のような、四季折々の田舎の仕事を地域住民から移住実践者が引き継ぎ実践していくことは地域の文化や豊かさの継承とともに、住民間の交流促進という意味でも価値があると考えられる。

